事業番号	05　10　02

事業改善シート（30年度実施事業分）

□当初要求　■当初予算案　□補正予算案　□点検

事業名	食品安全確保対策事業	部局	健康福祉部	課・室	食品・生活衛生課
		実施期間	S22 ～	E-mail	shokusei@pref.nagano.lg.jp

総合5か年計画（しあわせ信州創造プラン2.0）	
総合的に展開する重点政策	4-4 生命・生活リスクの軽減

1 事業の概要

現状（予算編成時）	毎年度策定する長野県食品衛生監視指導計画に基づき、平成28年度は食品関連事業所等に対し21,072件の立入監視指導を実施し、2,409件の流通食品の検査を実施した。また、と畜場でと畜されるすべての獣畜のと畜検査を行うとともに、食肉等の汚染実態調査として腸管出血性大腸菌検査を1,275件実施した。	30年度予算額	132,950 千円
		職員数	86.20 人
目指す姿	HACCPによる衛生管理手法を主とした質の高い食品衛生監視を行い、食品関連事業所の衛生管理や食品衛生に関する意識をさらに高める。また、県内に流通する食品を検査して違反食品等を排除し、と畜検査により安全な食肉を供給することにより、飲食に起因する健康被害の発生を未然に防止することを目指す。 （主な実施内容：食品関連事業所に対するHACCPを主とした監視指導の実施　など）		

事業コスト

区分（単位：千円）		28年度	29年度	30要求	30予算案
予算額	前年度繰越				
	当初予算	151,264	140,133	141,858	132,950
	補正予算				
	合計（A）	151,264	140,133	141,858	132,950
Aの財源	一般財源	39,173	26,923	38,300	29,892
	県債				
	国庫支出金	2,600	2,600	2,200	2,200
	その他	109,491	110,610	101,358	100,858
決算額（B）		133,013			
概算人件費	職員数（人）	87.00	86.20	86.20	86.20
	概算人件費（C）	688,518	682,187	682,187	682,187
概算事業費（B（A）+C）		821,531	140,133	824,045	815,137

指標及びその達成状況

No	成果指標	28年度末	29年度末（見込）	30年度 目標値	30年度 成果	30年度 達成状況
①	立入検査実施率	108.2%	100.0%	100.0%		
②	食品の検査検体数	2,409件	2,430件	2,335件		
③	腸管出血性大腸菌検査	1,275件	1,075件	1,075件		

成果指標設定理由	①②長野県食品衛生監視指導計画において、立入件数、食品の検査件数の計画件数を毎年挙げている。 ③と畜検査とともに実施する人畜共通感染症調査のうち、重要な食中毒原因物質として腸管出血性大腸菌を検査の対象とした。

指摘事項等への対応	指摘事項	対応
□ 監査 □ 決算特別委員会 □ 県民協働による事業改善		

予算要求からの主な変更点	・食品衛生監視指導事業 業務内容の見直しにより、人件費を減額 ・食品の試験・検査事業 検査機器は優先度の高いものから整備することとし、事業費を減額

2 事業を構成する細事業の内容

（単位：千円）

No	細事業名	30年度 実施内容	職員数（人）	29年度（当初）	30年度（要求）	30年度（予算案）
1	食品衛生監視指導事業	飲食に起因する健康被害の発生を未然に防止するため、食品関連事業所に対するHACCPによる衛生管理手法を主とした食品衛生監視指導の実施。	41.50	20,704	28,005	20,565
2	食品の試験・検査事業	違反食品等を排除し食品の安全確保を図るため、県内に流通する食品の添加物、残留農薬等の検査を実施。	19.70	52,359	48,917	47,308
3	食肉衛生検査所運営事業	安全な食肉を供給するため、食肉衛生検査所において、と畜検査をはじめとする食肉衛生に関する事業を実施。	25.00	67,070	64,936	65,077
		合計	86.20	140,133	141,858	132,950